



# 最先端のスマート農業を農福連携で！！

## ～ 先進農福連携農園が始動 ～

池田市の北部に位置する細河地域において、「スマート農業×農福連携」の普及に向けた先進農福連携農園のテストベッド運用が始まった。

市街化調整区域になっている同地域は、植木の四大産地として栄えていたが、需要の減少に加えて生産者の高齢化や担い手不足などにより、耕作放棄地や資材置場などが増加。その対策として、AIやIoT技術を取り入れたスマート農業に農福連携を組み合わせた新たなビジネスモデルのスキーム構築を官民連携で取り組み、農園を横展開することで地域の活性化に繋げていく。

### 運用主体

スマイルファーム細河  
 ※NPO法人トイボックスが運営する  
 就労継続支援B型事業所



耕作放棄地  
(テストベッド用地)

### 運用スケジュール

令和5年 9月7日 作付開始  
 10月下旬 収穫開始  
 令和6年 6月下旬 収穫終了⇒作付準備



テストベッド  
R5.3月完成

### 栽培作物

ミニトマト（品種：フラガール）



作付状況

### 官民連携の役割

- 池田市：スマート農業の普及による地域活性化
- 株イースト：細河地域活性化のマネジメント
- トイボックス：農福連携による栽培管理
- 株クボタ：データの相互利活用環境の構築
- 株ルートック：AIによる灌水施肥等の自動化
- 株タカミヤ：最適なハウス構造の設計
- 株farmo：栽培環境のモニタリング
- 株丸山製作所：農薬散布の自動化

※

※株クボタが取り組むスマート農業の実証圃場「クボタインキュベーションファーム」の参画企業で、農作業の自動化やデジタル化を推進。

### テストベッド設置費用

18,000千円（ハウス・スマート農業システム・整地費用・水道電気引込工事ほか）

問い合わせ 都市政策課 TEL072・754・6283



池田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

